

第389号

2014年

3月30日

# どついたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

## 第93回全損保中央委員会報告

3月12日(水)、第93回全損保中央委員会がエデュカス東京にて開催されました。来賓として国民春闘共闘代表幹事、全国金融共闘事務局長の出席があり、友好労組として大同労組委員長、書記長、損保料率機構労組委員長が参加されました。

中央委員会は、来賓の挨拶、一般経過報告、一般会計中間報告、会計監査報告を行い、浦上委員長より議案第1号「2014年度春闘方針」の提起が行われました。

冒頭、東日本大震災からの復興の願いとともに、損保の果たした役割の重要性とそこに働くものの献身的な努力を忘れてはならないと語られました。続いて、世界経済の不透明さについてと、国内では大企業のみが潤い、その実りは国民生活に回っていない状況について話され、国民の期待と逆行して、国民生活、平和と民主主義が脅かされていると指摘し、国民の声や思いが重視され、平和や民主主義が守られる政治への転換運動が必要だと訴えられました。また、現在の政治情勢は、産業を健全に発展させていく原動力である損保に働く者の誇りと働き甲斐を奪っていることと、労働者には将来不安がさらに高まっている状況を訴えました。その上で「2014年春闘では、損保に働く仲間の誇りと働きがいを取り戻し、不安を少しでも解消し、生活と労働を一步でも改善することが求められている。この間のとりくみで手にした仲間の声や思い、実態を力に、労働組合に結集して経営とたたかう」との位置付けのもと、春闘の具体的な方針が説明されました。

討論では、各社の政策への疑問や問題意識、「歪み」がもたらされる職場の現

実が語られ、そして、各支部・分会、地協における春闘の要求・課題、全損保に結集することの意義などがオブザーバーも含めた多くの参加者から発表されました。

具体的なすすめかたの部分では、日動外勤支部組合員はオブザーブ参加した組合員も含め全員発言し、「私たちにできることは何か」という観点から、「集まる場をできるだけ多く作る」「私たちのたたかいをきっちりと伝える」などのとりくみに対する決意が相次ぎました。まさに「全損保」ならではの春闘だけにとどまらない、さまざまな決意と意見が語られました。

討論の最後に荒木書記長が、「雇用を守り、生活と労働条件を一步でも改善しよう」とまとめられ、春闘方針が全員一致で確立されました。

その後の春闘宣言では、「確信と展望 職場からいまをただし明日をひらく」ことが宣言され、団結ガンバローで締めくくられました。

以 上